

第 53 回 愛媛形成外科研修会

抄 録 集

日 時 令和 6 年 11 月 16 日 (土) 17 時 00 分～

場 所 済生会松山病院 救急棟 3 階 大会議室

愛媛県松山市山西町 880-2

TEL : 089-951-6111 (代)

当番世話人

済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介

第 53 回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、16 時 30 分より会場で行います。
2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。
3. 演者の方で、研修会会員でない先生は、受付で入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり 5 分と 3 分、質疑応答は 3 分を予定しています。
5. PC は Windows、PowerPoint を使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で、調整等が必要になる場合があります(当日は、USB メモリーあるいは PC 本体をお持ちください)。
6. 駐車場は第一駐車場が最寄りです。駐車料金は無料です。

会 歴

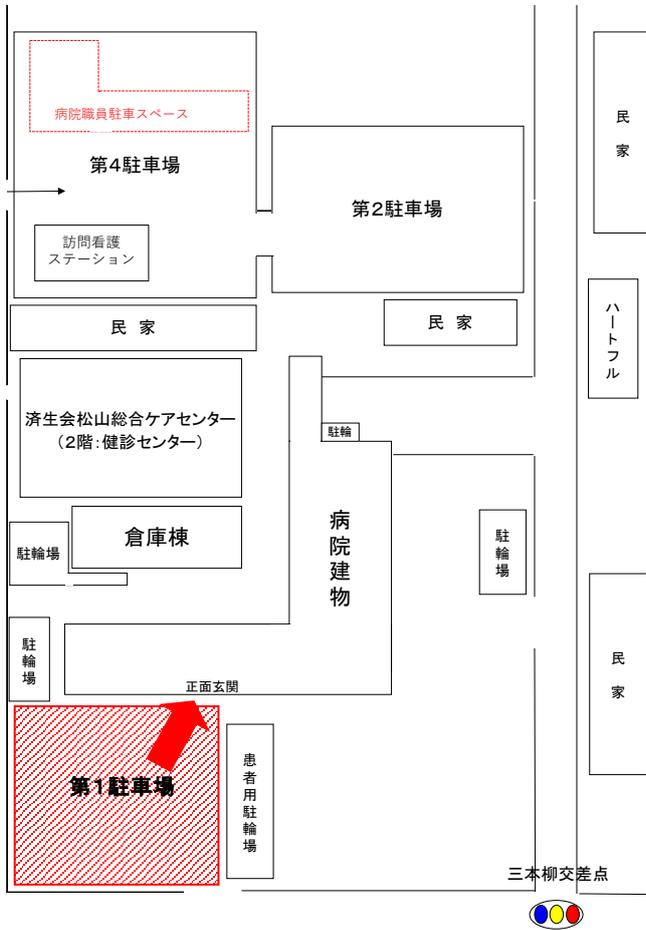
| 会 期 | 世 話 人 | 会 場 | 日 時 | 参加者 |
|--------|-------------------------------|-----------------|-------------------|------|
| 第 1 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 松山成人病センター | 平成 10 年 7 月 4 日 | 15 名 |
| 第 2 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 愛媛県医師会研修所 | 平成 10 年 12 月 5 日 | 17 名 |
| 第 3 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 松山成人病センター | 平成 11 年 6 月 19 日 | 20 名 |
| 第 4 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 11 年 11 月 27 日 | 19 名 |
| 第 5 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 12 年 6 月 24 日 | 17 名 |
| 第 6 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 12 年 12 月 9 日 | 20 名 |
| 第 7 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 13 年 6 月 23 日 | 23 名 |
| 第 8 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 13 年 12 月 8 日 | 23 名 |
| 第 9 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 14 年 6 月 8 日 | 27 名 |
| 第 10 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 14 年 12 月 14 日 | 27 名 |
| 第 11 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 15 年 6 月 28 日 | 25 名 |
| 第 12 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 15 年 12 月 13 日 | 25 名 |
| 第 13 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 16 年 6 月 26 日 | 26 名 |
| 第 14 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 16 年 12 月 4 日 | 29 名 |
| 第 15 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 17 年 6 月 18 日 | 31 名 |
| 第 16 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 会議室 | 平成 17 年 12 月 10 日 | 35 名 |
| 第 17 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 18 年 6 月 24 日 | 31 名 |
| 第 18 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 18 年 12 月 9 日 | 26 名 |
| 第 19 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 19 年 6 月 16 日 | 37 名 |
| 第 20 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 19 年 12 月 15 日 | 30 名 |

| 会 期 | 世 話 人 | 会 場 | 日 時 | 参加者 |
|--------|-------------------------------|------------------------|-------------------|------|
| 第 21 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 20 年 6 月 14 日 | 30 名 |
| 第 22 回 | 庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 20 年 12 月 6 日 | 30 名 |
| 第 23 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 21 年 6 月 27 日 | 32 名 |
| 第 24 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 21 年 12 月 12 日 | 28 名 |
| 第 25 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 22 年 6 月 19 日 | 34 名 |
| 第 26 回 | 田中 伸二 (石川病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 22 年 12 月 11 日 | 30 名 |
| 第 27 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 23 年 6 月 18 日 | 31 名 |
| 第 28 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 四国がんセンター 研修室 | 平成 23 年 11 月 26 日 | 25 名 |
| 第 29 回 | 庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科) | えひめ共済会館 4 階 未広 | 平成 24 年 6 月 23 日 | 34 名 |
| 第 30 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 平成 24 年 12 月 1 日 | 26 名 |
| 第 31 回 | 田中 伸二 (HITO 病院 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 平成 25 年 6 月 22 日 | 36 名 |
| 第 32 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | にぎたつ会館 2 階 楓の間 | 平成 25 年 11 月 30 日 | 30 名 |
| 第 33 回 | 安井 史明 (住友別子病院 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 平成 26 年 6 月 21 日 | 32 名 |
| 第 34 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 愛媛県立中央病院 新館カフアルス会議室 | 平成 26 年 11 月 29 日 | 32 名 |
| 第 35 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 平成 27 年 6 月 27 日 | 36 名 |
| 第 36 回 | 田中 伸二 (HITO 病院 形成外科) | HITO 病院 3 階 大会議室 | 平成 27 年 11 月 21 日 | 27 名 |
| 第 37 回 | 手塚 敬 (松山市民病院 形成外科) | 松山市民病院 2 階多目的ホール | 平成 28 年 6 月 11 日 | 32 名 |
| 第 38 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 平成 28 年 12 月 10 日 | 30 名 |
| 第 39 回 | 小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 愛媛県立中央病院 3 階中会議室①② | 平成 29 年 6 月 24 日 | 36 名 |
| 第 40 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科) | 四国がんセンター 本館 3 階研修室 | 平成 29 年 12 月 9 日 | 32 名 |

| 会 期 | 世 話 人 | 会 場 | 日 時 | 参加者 |
|--------|-----------------------------|------------------------|------------------|------|
| 第 41 回 | 庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科) | 松山赤十字病院 4 階多目的ホール | 平成 30 年 6 月 9 日 | 27 名 |
| 第 42 回 | 田中 伸二 (HITO 病院 形成外科) | HITO 病院 3 階 大会議室 | 平成 30 年 12 月 1 日 | 28 名 |
| 第 43 回 | 河村 進 (四国がんセンター 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 令和元年 6 月 22 日 | 31 名 |
| 第 44 回 | 中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂 | 令和元年 12 月 7 日 | 37 名 |
| 第 45 回 | 安井 史明 (住友別子病院 形成外科) | オンライン開催 | 令和 2 年 12 月 12 日 | 28 名 |
| 第 46 回 | 中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科) | オンライン開催 | 令和 3 年 6 月 12 日 | 35 名 |
| 第 47 回 | 手塚 敬 (松山市民病院 形成外科) | 松山市民病院 2 階 多目的ホール | 令和 3 年 12 月 4 日 | 23 名 |
| 第 48 回 | 庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科) | 松山赤十字病院 4 階多目的ホール | 令和 4 年 6 月 4 日 | 32 名 |
| 第 49 回 | 田中 伸二 (HITO 病院 形成外科) | 四国がんセンター 新棟 3 階研修室 | 令和 4 年 11 月 19 日 | 31 名 |
| 第 50 回 | 山下 昌宏 (四国がんセンター 形成外科) | ANA クラウンプラザ ホテル松山 | 令和 5 年 6 月 10 日 | 30 名 |
| 第 51 回 | 中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科) | 愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂 | 令和 5 年 11 月 25 日 | 24 名 |
| 第 52 回 | 野澤 竜太 (南松山病院 形成外科) | 南松山病院 3 階 研修室 | 令和 6 年 6 月 22 日 | 24 名 |

済生会松山病院への交通アクセス

◆ 駐車場のご案内

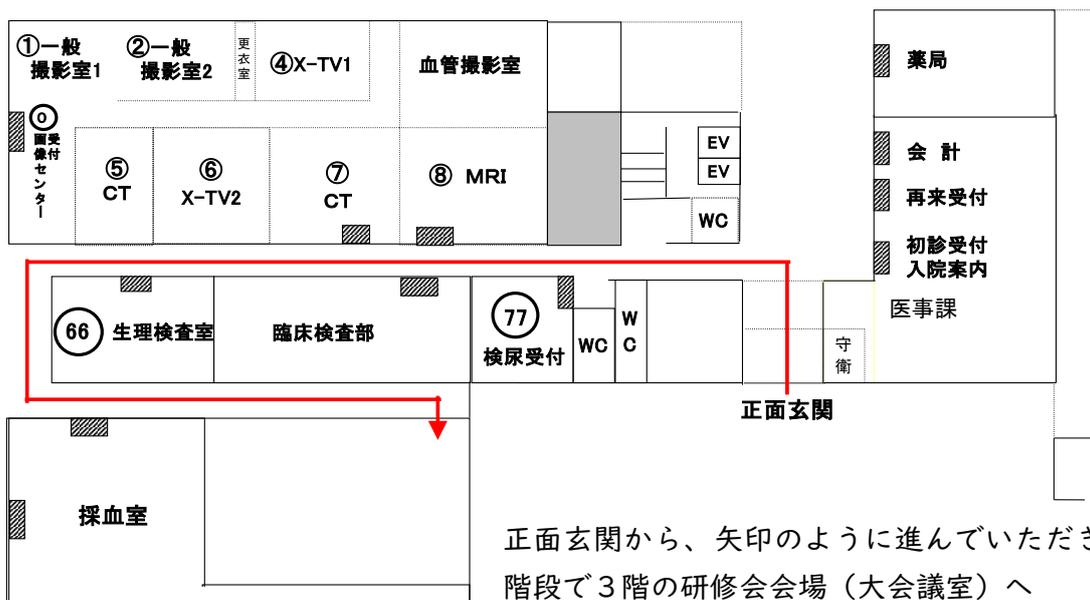


◆ JR 松山駅より タクシーで 15 分

◆ 伊予鉄山西駅より 徒歩で 7 分

駐車場は、第 1 駐車場が最寄りになります

済生会松山病院 フロアガイド



正面玄関から、矢印のように進んでいただき、階段で3階の研修会会場（大会議室）へお越しください

プ ロ グ ラ ム

Section I (17:00~17:40)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 先生

1. 低温熱傷と鑑別を要した多発壊死を含む電撃傷の一例 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他

2. 当院で経験した劇症型 A 群溶血性連鎖球菌感染症による壊死性軟部組織感染症 4 例の検討 (5分)

愛媛県立中央病院 形成外科 岡田 将誉 他

3. 植皮術後の難治性潰瘍について (5分)

済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介 他

4. Rudimentary meningocele の 1 例 (5分)

松山赤十字病院 形成外科 井上 拓人 他

5. 左足背異物遷延の 1 例 (3分)

南松山病院 形成外科 野澤 竜太

休憩 10 分

Section II (17:50~18:30)

座長:南松山病院 形成外科 野澤 竜太 先生

6. コイル塞栓術が奏功した顔面動静脈瘤の一例 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 他

7. 耳後部に膿瘍を形成した耳輪脚瘻孔の 1 例 (5分)

市立宇和島病院 形成外科 眞田 紗代子 他

8. 左乳頭乳輪部周辺に発症したボーエン病の 1 例 (3分)

HITO 病院 形成外科 山中 健生 他

9. 片側の開瞼障害で受診、眼瞼下垂・痙攣の治療後にバセドウ病の診断がついた 1 例 (3分)

松山市民病院 形成外科 手塚 敬 他

10. 木村氏病の一例 (5分)

四国がんセンター 形成外科 土谷 光太 他

総会 (18:30~18:45)

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 先生

1. 低温熱傷と鑑別を要した多発壊死を含む電撃傷の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、戸澤 麻美、檜垣 ひろみ、村上 達郎、森 秀樹

(5分)

26歳男性。銅を精製する作業中に突然倒れた。心肺停止状態でAEDにて自己心拍再開したが右口唇～頬部、前胸部～右上腕、右前腕、左上腕、右側胸背部、右大腿にⅢ度熱傷様の黒褐色～白色壊死を認めた。徐々に全体に黒色壊死となり電撃傷としてデブリードマンを施行したところ頬部は一部全層壊死、側胸背部は広背筋が全層壊死し肋骨が露出した。2期的に皮膚移植を施行した。稀な症例と思われるため若干の文献的考察を加えて報告する。

2. 当院で経験した劇症型 A 群溶血性連鎖球菌感染症による壊死性軟部組織感染症 4 例の検討

愛媛県立中央病院 形成外科

○岡田 将誉、中川 浩志、石野 憲太郎

(5分)

劇症型A群溶血性レンサ球菌感染症は、病状の進行が急激で、発病から数十時間以内にショック症状、多臓器不全、急性呼吸窮迫症候群、壊死性筋膜炎などを伴う、致命率の高い感染症である。5類感染症に位置付けられており届け出が必要な疾患である。2024年1月から8月までに当院で治療した劇症型A群溶血性連鎖球菌感染症5例のうち壊死性軟部組織感染症を来した4例について検討を行ったので、若干の文献的考察を加えて報告する。

3. 植皮術後の難治性潰瘍について

済生会松山病院 形成外科

○三宅 啓介、船木 杏奈

(5分)

分層植皮術において採皮部が難治化する症例はまれに経験する。今回植皮術後の2症例において、採皮部や保存的治療を行った部位が難治性潰瘍となり、治療に難渋している。症例を提示し、原因および治療方法について皆様の意見を伺いたい。

4. Rudimentary meningocele の1例

松山赤十字病院 形成外科

○井上 拓人、庄野 佳孝

(5分)

症例は16歳女性。生下時より後頭部の脱毛斑があり、近医で先天性皮膚欠損を疑われ当科紹介。切除術施行し、病理検査にて rudimentary meningocele の診断となった。患者の兄にも同腫瘍の手術歴があり、きょうだい発症例の rudimentary meningocele は比較的稀と考え、若干の文献的考察を加えて報告する。

5. 左足背異物遷延の1例

南松山病院 形成外科

○野澤 竜太

(3分)

74歳、女性。左足にとげがささり抜いたが、その4日後に発赤腫脹を主訴に来院した。触診、通常のレントゲン検査では明らかな異物を確認できなかった。抗生剤を投与するも、改善傾向に乏しく、4週間後にCTを施行した。足背に異物と思われる陰影を認め、木片を摘出した。反省をこめて症例を供覧する。

休憩 10分

Section II (17:50~18:30)

座長:南松山病院 形成外科 野澤 竜太 先生

6. コイル塞栓術が奏功した顔面動静脈瘻の一例

¹⁾愛媛大学医学部附属病院 形成外科、²⁾杏林大学医学部附属病院 放射線科³⁾東京医科大学 放射線医学分野、⁴⁾慶應義塾大学 医学部 放射線科学(診断)⁵⁾千葉がんセンター 医療の質・安全管理部○村上 達郎¹⁾、森 秀樹¹⁾、檜垣 ひろみ¹⁾、泉本 真美子¹⁾、戸澤 麻美¹⁾、小野 澤志郎²⁾高良 裕葵³⁾、山本 洋輔⁴⁾、大内 邦枝⁵⁾

(5分)

18歳男性、7年前にガラス片で耳前部に裂創を受傷、徐々に受傷部が腫脹した。前医脳外科で皮下の動静脈瘻を指摘され、当科紹介となった。形成外科と放射線科医師で協議し、IVR下にコイル塞栓術を行い奏功した。若干の文献的考察とともに報告する。

7. 耳後部に膿瘍を形成した耳輪脚瘻孔の1例

¹⁾市立宇和島病院 形成外科、²⁾愛媛大学医学部附属病院 形成外科○真田 紗代子¹⁾、浅野 遥奈¹⁾、森 秀樹²⁾

(5分)

症例は17歳女性。主訴は5歳ごろより繰り返す左耳後部の膿瘍。左耳輪脚部に小さな陥凹と耳後部に瘻孔を伴う膿瘍を認めた。瘻孔造影CTでは耳後部と耳輪脚部に造影効果を認め、手術で耳輪脚部から耳後部に貫通した瘻管を摘出した。耳後部に膿瘍を伴う疾患には先天性耳瘻孔の他に、乳様突起炎や第1鯉裂由来瘻孔などがあるが、瘻孔造影CTが診断に有用であった。

8. 左乳頭乳輪部周辺に発症したボーエン病の1例

HITO病院 形成外科

○山中 健生、米田 武史、中西 秀樹

(3分)

60代女性。初診の4~5年前より左乳輪の外側に丘疹が出現し、一部が乳輪に及ぶ。部分生検にてボーエン病の病理診断。文献検索を行ったところ、乳頭乳輪部に生じた報告は12例。今月末に切除を予定。ご意見、ご教示等をお願いします。

9. 片側の開瞼障害で受診、眼瞼下垂・痙攣の治療後にバセドウ病の診断がついた1例

¹⁾松山市民病院 形成外科

²⁾十全総合病院 形成外科(非常勤)

○手塚 敬¹⁾、川野 貴大¹⁾、上村 由美子¹⁾、森 秀樹²⁾

(3分)

25歳女性。左側の開瞼障害で受診した。眼瞼痙攣を伴った下垂症の随伴症状があり、両側の上眼瞼ADM(ミューラー筋離断と腱膜前転固定)を施行したが、左右差は矯正されなかった。術中頻脈が持続したため、術後に甲状腺機能検査を行ったところ、機能亢進が認められ、バセドウ病と診断され治療が開始された。半年後の受診で左右差はかなり改善していた。

10. 木村氏病の一例

四国がんセンター 形成外科

○土谷 光太、山下 昌宏

(5分)

症例は40代男性。2年前より左耳介後部に腫瘤を自覚していた。当科にてリンパ節腫大や結節性筋膜炎を疑い、組織検査を兼ねて手術による全切除を行い、病理診断は木村氏病であった。若干の文献的考察を加えて報告する。

総会 (18:30~18:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他